

「J1p065R4_1.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC
ユーザープログラム 「J1p065R4_1.bas」「J1p065R4_2.bas」

2. 対応分野 : 実教出版 数学 p 65 関数の定義域・値域

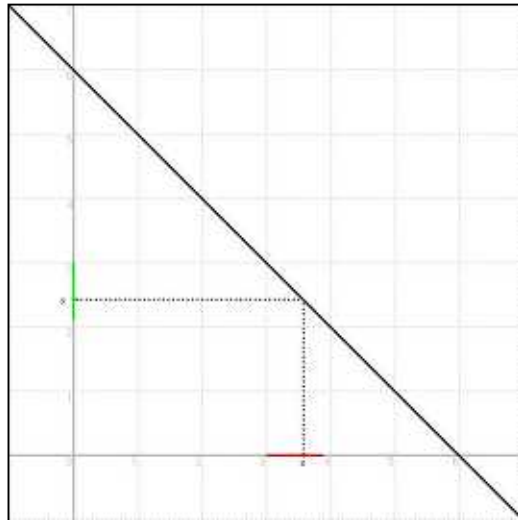
例4 次の関数の値域を求めよ。

$$(1) y = -x + 6 \quad (1 \leq x \leq 4) \quad (2) y = x^2 \quad (-2 \leq x \leq 3)$$

3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後, 「開く」 「実行」と操作すると

(1) $y = -x + 6$ ($y = x^2$) のグラフと $x = 3$ ($x = 2$) の対応関係が表示される。

4. 操作 :



(1) [] [] キーで図の x を左右に移動させることができる。

(2) [S] キーで定義域の初期値 1 へ移動する。

(3) [R] キーで既定値 (初期画面) へ移動する。

(4) [Enter] キーで作業を終了する。

5. 目的 :

(1) 定義域に対する値域を視覚的に理解させる。

(2) y 軸上への影の集まりであることを認識させる。

6. 利用時期 :

(1) 教科書導入時

「関数 $y = x^2$ において, x の変域が **アイ** $x = 1$ のとき, y の変域は **ウ** $y = 9$ である。」

(アチーブメントテストより) において, **アイ** の正答率 66% に対して, **ウ** の正答率は
ほぼ 55% であり, **グラフをかいて考える** という習慣が定着していないようである。

(2) 指導後の追認作業として用いても良い。

(3) 既定値をそれぞれの問題にセットし, 座標位置を合わせたプログラムが用意されている。

練習 4 「J1p065RS4_1.bas」「J1p065RS4_2.bas」「J1p065RS4_3.bas」「J1p065RS4_4.bas」

練習 5 「J1p066RS5_1.bas」「J1p066RS5_2.bas」「J1p066RS5_3.bas」「J1p066RS5_4.bas」